



なら歴史芸術文化村

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

なら歴史芸術文化村（なられきしげいじゅつぶんかむら）は、奈良県天理市杣之内町（そののうちちょう）にある^{[2][3]}複合文化施設である。道の駅としても登録されており^[3]、**道の駅なら歴史芸術文化村**（みちのえき なられきしげいじゅつぶんかむら）の名称で登録されている^{[6][7]}。

概要

2022年（**令和4年**）**3月21日**に開業^{[2][3]}。**奈良県**が総工費約100億円をかけて整備した^{[2][3][9]}。

奈良県内に散在する文化財修復施設を集約し、修復に必要な伝統工芸の人材育成をすすめ、文化財や芸術に触れる機会を設け観光、産業の振興、賑わいの創出を行うことを目的としている^{[5][10]}。**日本**では初めてとなる、4分野（**仏像等彫刻・絵画書跡等・歴史的建造物・考古遺物**）の文化財修復工程の見学が1年を通して実施している^{[2][3][9]}。

また、当施設の総括責任者として、**近畿日本鉄道**（近鉄）の元社員で広報を担当していた福原稔浩が就任している^{[3][11][12]}。

当初は「奈良県国際芸術家村」の仮称で整備され、平成30年度重点道の駅として選定されている^[13]。

施設

施設は4棟で構成されている^{[5][9]}。

- **情報発信棟**^[3]
 - **トイレ** 21器（ほかの棟にもあるが、この棟のものだけは24時間利用可能）

なら歴史芸術文化村



施設情報

専門分野	文化財、芸術交流
事業主体	奈良県
管理運営	やまとの道コンソーシアム（株式会社ネクスト・アクシス 株式会社まほろばホールディングス 太平ビルサービス株式会社）
建物設計	大建設 ^[1]
開館	2022年（令和4年）3月21日 ^{[2][3]}
所在地	〒632-0032 奈良県天理市杣之内町437-3
最寄駅	天理駅
最寄IC	天理ICまたは天理東IC

- 情報発信スペース（9:00 - 17:00）[\[4\]](#)[\[9\]](#)
- 観光案内所（9:00 - 17:00）[\[4\]](#)
- ベビーコーナー
- 交流にぎわい棟[\[2\]](#)[\[3\]](#)
 - 伝統工芸品ショップ（9:00 - 18:00）
 - 農産物直売所（9:00 - 18:00）
 - レストラン（9:00 - 20:00）[\[4\]](#)[\[9\]](#)
 - サイクルステーション[\[4\]](#)
- 文化財修復・展示棟[\[2\]](#)[\[3\]](#) - ガラスのない見学スペースで、[レプリカ](#)に触れながら修復の工程が見学できる（予約が必要）[\[3\]](#)。
 - 展示室
 - 修復工房
 - [ユネスコ](#)・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所
- 芸術文化体験棟[\[2\]](#)
 - ホール
 - スタジオ
 - 交流ラウンジ
 - セミナールーム
- EV充電施設
- 駐車場 80台[\[4\]](#)
- 屋外体験ゾーン
- フェアフィールド・バイ・マリオット・奈良天理山の辺の道
 - [積水ハウスとマリオット・インターナショナルの合併事業によるホテル](#)（奈良県で第1号）[\[3\]](#)。施設の詳細は、[公式サイト \(https://www.marriott.co.jp/hotels/travel/osaft-fairfield-](https://www.marriott.co.jp/hotels/travel/osaft-fairfield-)

外部リンク [公式ウェブサイト \(https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/\)](https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/)

[プロジェクト:GLAM](#)

なら歴史芸術文化村

 632-0032

所在地 [奈良県天理市](#)
[杣之内町437-3](#)[\[4\]](#)

登録路線 [国道25号](#)

登録回 第55回（29016）

登録日 [2021年6月11日](#)[\[5\]](#)[\[6\]](#)[\[7\]](#)

開駅日 [2022年3月21日](#)[\[2\]](#)[\[3\]](#)[\[8\]](#)

9:00 - 18:00
（伝統工芸品ショップ・農産物直売所）
9:00 - 17:00
（情報発信スペース）

営業時間

[国土交通省案内ページ \(http://www.kkr.mlit.go.jp/road/michi_no_eki/contents/nara/NaraPrefectureHistoricalandArtisticCultureComplex.html\)](http://www.kkr.mlit.go.jp/road/michi_no_eki/contents/nara/NaraPrefectureHistoricalandArtisticCultureComplex.html)

外部リンク

[全国道の駅連絡会ページ \(http://www.michi-no-eki.jp/stations/views/19974\)](http://www.michi-no-eki.jp/stations/views/19974)

[公式ウェブサイト \(https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/\)](https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/)

[nara-tenri-yamanobenomichi/](#))を参照。

休館日

- 毎週月曜日（交流にぎわい棟を除く、祝日の場合は翌日）^[4]
- [12月28日](#) - [1月4日](#)（情報発信棟のトイレを除く）^[4]

アクセス

- [国道25号](#) - [登録路線](#)^{[6][7]}いわゆる非名阪沿いで、[名阪国道天理インター](#)や[天理東インター](#)からは[国道169号](#)や[奈良県道51号天理環状線](#)で非名阪に出る必要がある。天理環状線との交差点は「[なら歴史芸術文化村前](#)」という名前に改名された。

公共交通機関

- [西日本旅客鉄道](#)（JR西日本）・[近畿日本鉄道](#)（近鉄）[天理駅](#)より[シャトルバス](#)（有料）^[9]。
 - 2022年6月1日より、[奈良交通](#)の一部時間帯（月曜日を除く9時から17時まで）の運行をWILLER EXPRESSに委託^{[14][15]}。また、同日より当該時間帯は予約制となっている。詳細は、[なら歴史芸術文化村 直行オンデマンドシャトル](#) (<https://travel.willer.co.jp/maas/mobi/nara/?mid=1467>)を参照。

周辺

- [杣之内古墳群](#)
- [山辺の道](#)



脚注

1. ^ <https://www.kensetsunews.com/web-kan/215209>. 建設通信新聞. (2018年7月12日) 2022年3月21日閲覧。
2. ^ <https://web.archive.org/web/20220322134807/https://www.asahi.com/articles/ASQ3P7375Q3PPOMB004.html>. 朝日新聞デジタル. (2022年3月22日). オリジナル (<https://www.asahi.com/articles/ASQ3P7375Q3PPOMB004.html>)の2022年3月22日時点におけるアーカイブ。 2022年8月10日閲覧。
3. ^ <https://web.archive.org/web/20220513081452/https://www.nara-np.co.jp/web/20220509145721.html>. 奈良新聞デジタル. (2022年5月13日). オリジナル (<https://www.nara-np.co.jp/web/20220509145721.html>)の2022年5月13日時点におけるアーカイブ。 2022年8月10日閲覧。
4. ^ [a b c d e f g h](#) 『道の駅ハイパーガイドブック2022-2023』 八重洲出版、2022年4月28日、173頁。
5. ^ [a b c](#) 『「道の駅」の第55回登録について ～今回6駅が登録され、全国で1,193駅となります～ (<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001408475.pdf>)』 (PDF) (プレスリリース) 国土交通省道路局、2021年6月11日。 2022年3月21日閲覧。
6. ^ [a b c](#) “国交省、「道の駅」6駅を新規登録。新たに「防災道の駅」も選定開始、広域的防災拠点として重点支援 (<https://travel.watch.impress.co.jp/docs/news/1330866.html>)”。 *トラベルWatch* (2021年6月11日). 2022年8月10日閲覧。
7. ^ [a b c](#) “「道の駅」新たに6駅追加 キャンプカーOK・文化財修復施設・沖縄北端部など特色豊か (<https://trafficnews.jp/post/107938>)”。 *乗りものニュース* (2021年6月12日). 2022年8月10日閲覧。
8. ^ “なら歴史芸術文化村が21日にオープン 文化財修復を公開” (<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF186HU0Y2A310C2000000/>). *日本経済新聞*. (2022年3月18日) 2022年3月21日閲覧。
9. ^ [a b c d e f](#) “「なぜ？」に答える、奈良の歴史芸術文化を発信する複合施設 (<https://www.lmaga.jp/news/2022/04/420473/>)”。 *Lmaga.jp* (2022年4月17日). 2022年8月10日閲覧。
10. ^ “基本理念及び基本方針 (<https://www.pref.nara.jp/secure/230406/H28kihonkeikaku1-4.pdf>)” (PDF). 奈良県. 2022年3月21日閲覧。
11. ^ “近鉄「名物広報マン」が転身、畑違いの第2の人生 (<https://toyokeizai.net/articles/-/501167?page=5>)”。 *東洋経済オンライン* (2022年1月10日). 2022年8月10日閲覧。
12. ^ “福原稔浩 元近鉄名物広報マン「なら歴史芸術文化村」総括責任者” (<https://web.archive.org/web/20220401131529/https://www.chunichi.co.jp/article/445348>). *中日新聞Web*. (2022年4月1日). オリジナル (<https://www.chunichi.co.jp/article/445348>)の2022年4月1日時点におけるアーカイブ。 2022年8月10日閲覧。
13. ^ 平成30年度重点道の駅 (https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/juten_eki/model02_h30.html) - 国土交通省

14. [^] 『ちょいのりサービス「mobi」合併会社の事業開始 (<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2022/04/21/6010.html>)』 (プレスリリース) KDDI、2022年4月21日。2022年8月10日閲覧。

15. [^] 『「なら歴史芸術文化村」へのアクセスについて (https://www.narakotsu.co.jp/news/news_1393.html)』 (プレスリリース) 奈良交通、2022年7月27日。2022年8月10日閲覧。

関連項目

- [道の駅一覧 な行](#)
- [道の駅一覧 近畿地方](#)

外部リンク

- [公式ウェブサイト \(<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/>\)](https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/)
 - [なら歴史芸術文化村 \(<https://x.com/narabunkamura>\)](https://x.com/narabunkamura) (@narabunkamura) - [X \(旧Twitter\)](#)
 - [なら歴史芸術文化村 \(<https://www.facebook.com/narabunkamura/>\)](https://www.facebook.com/narabunkamura/) (narabunkamura) - [Facebook](#)
 - [なら歴史芸術文化村 \(\[https://www.instagram.com/nara_bunkamura/\]\(https://www.instagram.com/nara_bunkamura/\)\)](https://www.instagram.com/nara_bunkamura/) (@nara_bunkamura) - [Instagram](#)
-

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=なら歴史芸術文化村&oldid=104880672>」から取得